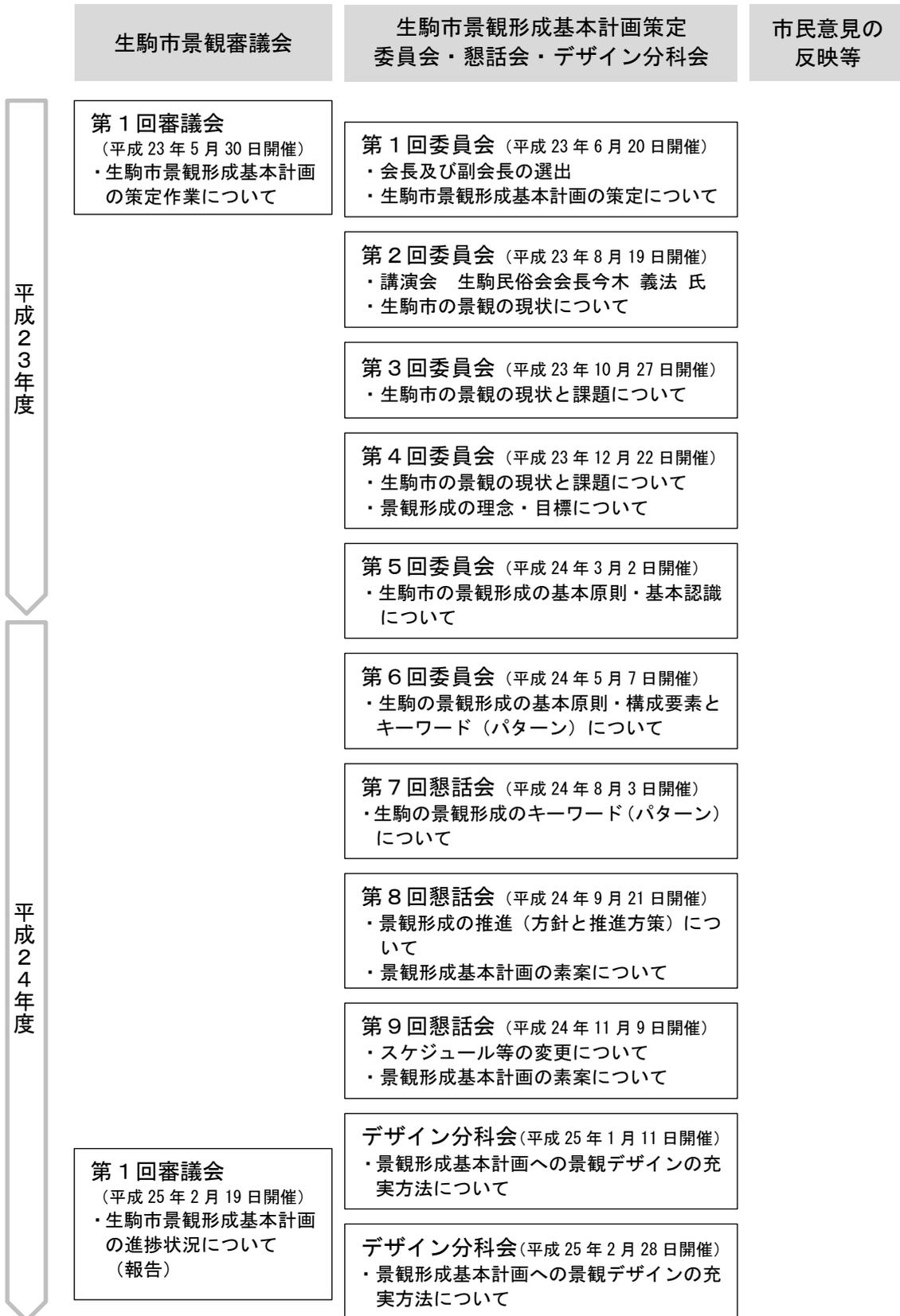


卷末資料

1. 計画の検討経過



生駒市景観審議会

生駒市景観形成基本計画策定
委員会・懇話会・デザイン分科会

市民意見の
反映等

平成
25
年度

デザイン分科会(平成25年4月17日開催)
・景観形成基本計画への景観デザインの充
実方法について

デザイン分科会(平成25年5月20日開催)
・景観形成基本計画への景観デザインの充
実方法について

デザイン分科会(平成25年6月14日開催)
・景観形成基本計画への景観デザインの充
実方法について

デザイン分科会(平成25年7月3日開催)
・景観形成基本計画への景観デザインの充
実方法について

デザイン分科会(平成25年7月29日開催)
・景観形成基本計画への景観デザインの充
実方法について

第10回懇話会(平成25年8月23日開催)
・今後のスケジュールについて
・景観形成基本計画の素案について

第1回審議会
(平成25年9月13日開催)
・生駒市景観形成基本計画
(素案)について(報告)
・生駒市景観計画(変更素
案)について(報告)
・生駒市景観条例(改正素
案)について(報告)
・生駒市景観形成基本計画
の策定等に関するスケ
ジュールについて

パブリック
コメント
(平成25年
10月11日
~11月11日)
・意見提出
3名

第2回審議会
(平成26年1月10日開催)
・生駒市景観形成基本計画
の策定について(諮問)
・生駒市景観計画の変更に
ついて(諮問)
・生駒市景観条例の改正に
ついて(諮問)

第11回懇話会(平成25年12月20日開催)
・パブリックコメント手続きの結果について
・生駒市景観形成基本計画の案について
・生駒市景観計画の変更案について
・生駒市景観条例の改正について

策 定

2. 景観審議会・策定懇話会名簿

本計画の策定にあたって、生駒市景観審議会及び生駒市景観形成基本計画策定懇話会の皆様には多大なるご協力を頂きました。ここに謝意を表します。

生駒市景観審議会委員名簿

氏名	選出母体・役職
会長 久 隆 浩	学校法人近畿大学教授
副会長 下 村 泰 彦	大阪府立大学大学院教授
嘉 名 光 市	大阪市立大学大学院准教授
中 西 達 也	弁護士 生駒市環境審議会委員
井 上 良 作	生駒市農業委員会会長
久 保 幸 作	生駒商工会議所常議員
福 本 良 平	奈良県建築士会会長

生駒市景観形成基本計画策定懇話会参加者名簿

氏 名	選出母体・役職
座 長 久 隆 浩	学校法人近畿大学教授
下 村 泰 彦	大阪府立大学大学院教授
嘉 名 光 市	大阪市立大学大学院准教授
大 原 暁	生駒商工会議所専務理事
樽 井 雅 美	NPO法人日本ワンディッシュエイド協会副理事長 生駒市環境基本計画推進会議会員
福 本 良 平	奈良県建築士会会長
植 田 冽	公募市民
大 西 健 夫	公募市民

3. 懇話会参加者から

久 隆浩 氏

この計画書は、C. アレグザンダーのパタン・ランゲージを参考につくりました。アレグザンダーは、「歴史的街並みなど誰もが認めるようないい環境には、全体と部分とが相互に関連し合うような秩序がある」と述べています。これを住民みずからが「パタン」として見出し、デザインに活用しようというのがパタン・ランゲージの考え方です。本書では生駒の景観をつくりだしているパタンを示しているのので、読むだけで生駒の景観の成り立ちが理解できると思います。これを参考にこれからの景観のあり方を一緒に考えていただければ幸いです。

下村 泰彦 氏

生駒市は、生駒山や矢田丘陵を有し、自然環境に恵まれた良好な景観が保全されている都市です。また、市民の皆さんの努力により、緑豊かで良好な居住環境が形成・維持されている都市でもあります。この豊かな環境を保全しつつ、良好で愛着のある景観づくりには、小手先だけの修景ではなく、地形地物や履歴を読み取り、景観づくりに反映されることが必要と考えています。本書が「生駒らしい景観づくり」の一助となることを期待しています。

嘉名 光市 氏

生駒の景観には沢山の特徴があります。地形の織りなす眺望景観、地域に根付いた歴史文化的景観、田畑やモリと一体となった里の景観、閑静な住宅地の景観などです。そして、そこに暮らす人々の営みの景観が組み合わさることで、それぞれの場の景観とその個性を形づくっています。生駒の景観では、周囲を見渡し、それらとの関係性を丹念に考えることが重要です。基本計画を参考に良好な景観形成のあり方を是非考えてみてください。

大原 暁 氏

久座長をはじめ、委員の先生方、事務局の皆様のご苦勞に感謝申し上げます。

景観は、「美景」「醜悪な景色」「心地よい風景」「見たくない光景」「緑あふれる自然」「歴史ある叙景」「田舎の情景」「都市の眺望」「景観（警官＝取り締まる）」というイメージなど個々の価値観によって違ってきます。まずは、「生駒らしい景観」に関心をもってもらおう！種をまき、守り育てて参りましょう。

樽井 雅美 氏

今回、本委員をさせていただき、いこまの景観について考える機会をいただき、改めて生活の中の当たり前の風景にこそ生駒らしさがある・・・ということに気が付きました。一人でも多くの市民の方に手に取っていただき、この何気ないいこまの「無名の質」に気が付き、価値を見出すきっかけに本計画がなってくれることを心から願っています。

福本 良平 氏

景観のもつ重要さはそこで生まれ育った人々の原風景として一生心に残ることだと思います。ただ現在の時代の流れ、変化の早さは、美しい景観を不変的に残すことが大変むずかしくもなっています。

しかし美しい景観を残す、あるいは創ることは未来の人々への我々の義務ではないかと思えます。又、その事は大都市と違って地域独特の魅力ある世界を生みだすとともにその地域の文化度を高めることにもなると思えます。

奈良県建築士会では2年に一度奈良県景観調和デザイン賞というプロジェクトを行っています。当生駒市からもたくさん応募されることを期待したいと願っています。

植田 冽 氏

生駒の持つ魅力をわかりやすいキーワードで整理し、その魅力を活かすための計画を作っていただけだと思っています。

初めは『規制するための計画になる』と考えていましたが、策定の過程で生駒の自然・風土・産業などにより形成された生駒の景観を守り育てるための計画となったことが理解でき、一市民として理解・納得できるものになったと思っています。

『景観』と同じ語源に『風致』という言葉があります。その風致が生駒で成熟するようこの計画を一市民として実践していきたいと思えます。

大西 健夫 氏

「景観」、この言葉を初めて知ったのが平成21年5月、生駒市の景観計画策定の公募委員募集のことでした。以来4年のいろいろな学習や委員会活動を経て、その意味を理解し、一市民として感じるどころを発言させてもらうなど市の計画策定に参画できたことをうれしく思い、感謝しています。これからは、この貴重な成果をさらに深めて、一人でも多くのネットワークをつくり、楽しく交わり、少しでも地域のまちづくりに実践できるよう研鑽に努めたいと思えます。

4. 計画策定にご協力頂いた方々

本計画の策定にあたって、生駒の景観に関する貴重なお話を頂いたり、資料を提供頂いたりといったご協力を多数の方々から頂きました。ご協力頂いた方々に謝意を表します。
(五十音順、所属・肩書きは当時のもの)

今木 義法氏 (生駒民俗会会長)
卜部 直也氏 (神奈川県真鶴町危機管理課主幹、元まちづくり課)
片岡 一平氏 (近鉄不動産(株)資産管理部)
上武 照夫氏
鹿谷亜希子氏 (奈良民俗文化研究所、ささぶね編集工房)
谷村弥三郎氏 (奈良県高山茶釜生産協同組合)
出島 康博氏 (近鉄不動産(株)資産管理部)
野口 和雄氏 (野口都市研究所)
福田 正治氏 (建築職人)
松井 清次氏
山本 清一氏 (日本伝統瓦技術保存会会長)
與川 勝己氏 (神奈川県真鶴町まちづくり課副主幹)